

彦 根 愛 知 犬 上 地 域  
新 ご み 処 理 施 設 整 備 事 業 に 係 る

# 環境影響評価準備書 のあらまし



令 和 4 年 8 月

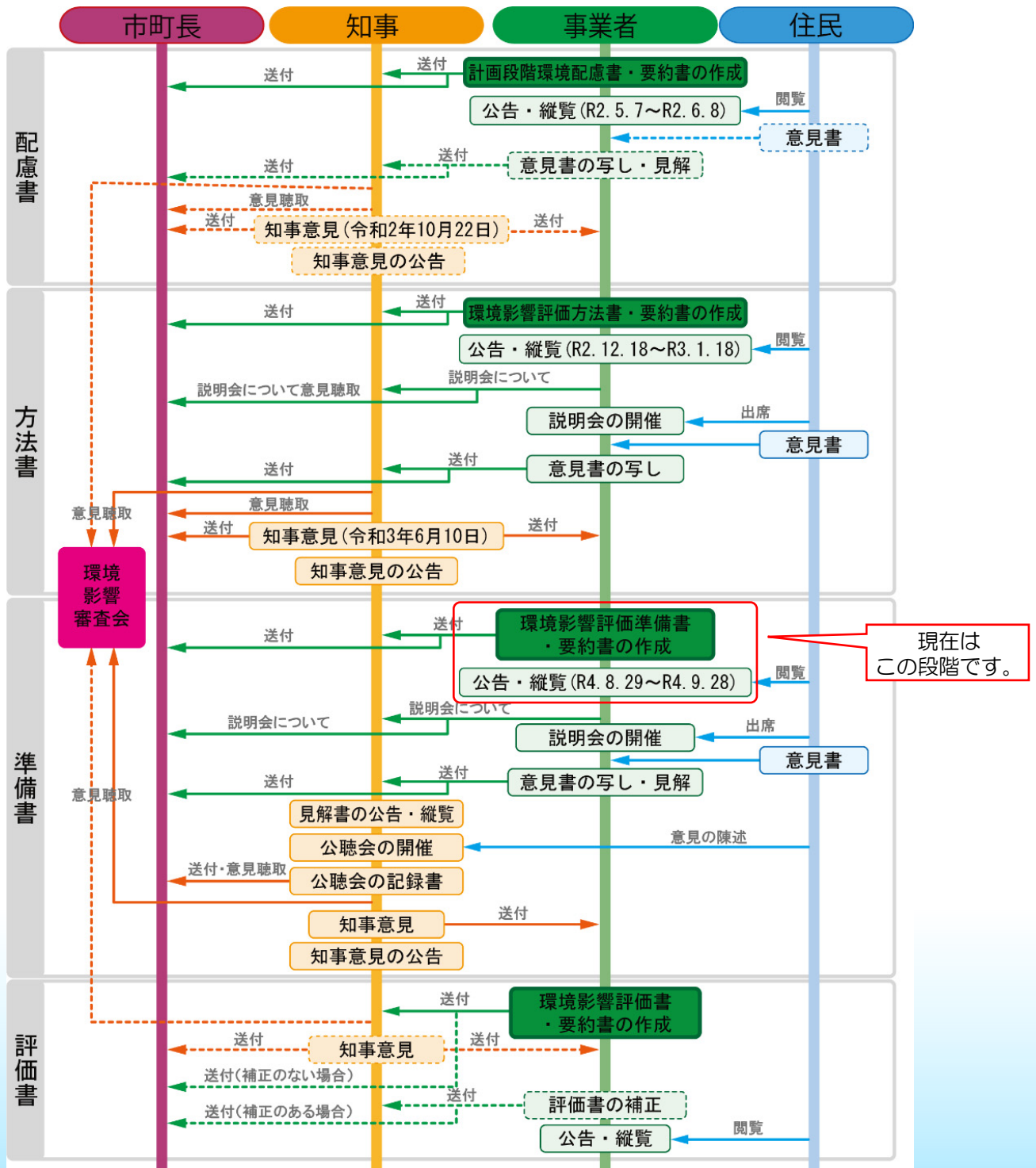
彦根愛知犬上広域行政組合

## ◆はじめに

環境影響評価（環境アセスメント）は、事業が環境に与える影響を調査・予測・評価することで、環境保全の観点からよりよい事業計画を作り上げていこうという制度です。

- **配慮書**： 事業計画の策定前の計画段階における手続きであり、「計画段階環境配慮書」を作成・公表し、意見聴取を実施しました。
- **方法書**： 配慮書に係る住民意見や滋賀県知事の意見等を踏まえ、調査・予測・評価の方法をまとめた「環境影響評価方法書」を作成・公表し、意見聴取を実施しました。
- **準備書（今回）**： 方法書、およびそれに係る住民意見や滋賀県知事の意見等を踏まえ、環境の現況調査・影響の予測・評価を行い、その検討結果をとりまとめた「環境影響評価準備書」を作成しました。

### ＜環境影響評価（環境アセスメント）の手続きの流れ＞



## ◆対象事業の目的

現在、彦根愛知犬上広域行政組合（以下「本組合」といいます。）を構成する彦根市、愛荘町、豊郷町、甲良町および多賀町の圏域内における可燃ごみ処理施設は、彦根市清掃センター（昭和52年稼働）と、彦根市以外の4町が利用するリバースセンター（平成9年稼働）の2施設がありますが、いずれも経年使用による施設の老朽化が進んでいることから、新しいごみ処理施設の建設が喫緊の課題となっています。

また、近年ごみ処理行政においては、経済面、効率面での最適化を実現する方策として、広域的なごみ処理体制の構築が重要とされています。

そこで、本組合では、「滋賀県一般廃棄物処理広域化計画（平成11年3月）」を契機に、広域でのごみ処理を目指し、新たなごみ処理施設の整備を行うこととしました。

## ◆施設整備の理念

### （1）ごみの安全・安心・安定的な処理が確保できる施設

- 施設の不具合等によるトラブルをできるだけ少なくし、ごみを滞ることなく安定して処理できる施設。

### （2）環境への負荷の少ない施設

- 周辺環境との調和に配慮し、ダイオキシン類や、水銀をはじめとする有害物質や騒音・振動等の環境負荷を低減することが可能な施設。

### （3）資源循環・エネルギーの回収に優れた循環型社会基盤施設

- ごみからのマテリアルリサイクル（物質回収）、サーマルリサイクル（熱回収）を積極的に行い、また、情報提供や環境教育の充実を図り、循環型社会の構築に貢献できる施設。

### （4）経済性に優れた施設

- 費用対効果についても十分に考慮し、経済性に優れた施設。

### （5）災害に強い施設

- 災害時にもできる限り安定運転が可能とし、災害廃棄物処理および災害時のエネルギー供給等の拠点と成り得る、必要な設備を備える施設。

### （6）社会情勢等の変化への柔軟な対応ができる施設

- 社会情勢等の変化により求められる処理システムや公害防止基準の変化に柔軟な対応ができる施設。

## ◆施設規模

対象施設		施設規模
滋賀県環境影響評価条例 対象施設	焼却施設	139 t/日 <sup>注)</sup> (69.5 t/24時間×2炉)
関連施設	リサイクル施設	31 t/日

注) 災害廃棄物を含む量です。

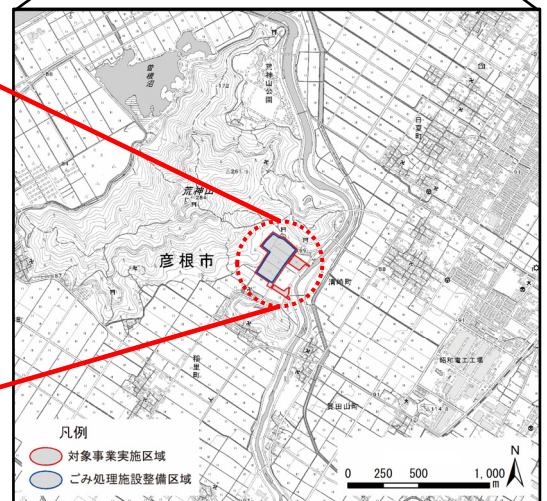
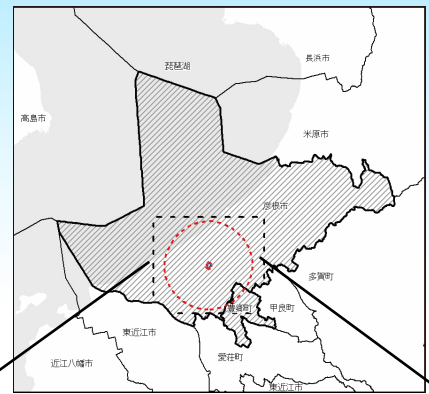


## ◆対象事業実施区域の位置・面積

位置：彦根市清崎町地先

面積：約 6.3 ha（うち、ごみ処理施設整備区域 約 5.2 ha）

※対象事業実施区域は、施設等の整備に加え、工事中に一時的に設置する工事用仮設道路等の範囲を含む区域です。



## ◆焼却施設の概要・排出ガス基準

項目	内容
処理方式	ストーカ式焼却方式
煙突高さ	59 m
排出ガス処理設備	排出ガス処理設備は、ばいじん、硫黄酸化物、塩化水素、窒素酸化物、ダイオキシン類、水銀およびその他有害物質を除去するために必要な除去設備、ろ過式集じん器等で構成する。除去設備は、費用対効果を考慮し、反応生成物を乾燥状態で回収する「乾式法」とする。
余熱利用	発電を行う計画。発電した電力は施設内で電力利用のうえ、余剰電力は売電する。
給水設備	上水道を使用。
排水処理設備	ごみピット汚水はろ過した上で炉内に噴霧する。プラント系排水（有機系、無機系）の排水は、一定の処理を行いプラント内で再利用するとともに、余剰分は下水道排除基準に適合するよう処理した後、下水道に放流する。

項目	新施設の排出ガス基準	
	新施設の公害防止基準	法基準値
ばいじん (SPM)	0.01 g/m <sup>3</sup> N以下	0.08 g/m <sup>3</sup> N以下
塩化水素 (HCl)	30 ppm以下	430 ppm以下 (700 mg/m <sup>3</sup> N)
硫黄酸化物 (SOx)	30 ppm以下	K値14.5以下 (約1,500ppm <sup>注</sup> )
窒素酸化物 (NOx)	50 ppm以下	250 ppm以下
ダイオキシン類	0.1 ng-TEQ/m <sup>3</sup> N以下	1 ng-TEQ/m <sup>3</sup> N以下
一酸化炭素 (CO)	20 ppm以下 (4 時間平均値)	30 ppm以下 (4 時間平均値) 100 ppm以下 (1 時間平均値)
水銀 (Hg)	30 μg/m <sup>3</sup> N以下	30 μg/m <sup>3</sup> N以下

注) 新施設の現時点での排出ガス条件から換算した値です。

## ◆事業計画の概要

項目	年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11
	施設整備・敷地造成基本設計		■								
敷地造成実施設計			■	■							
施設整備事業者選定				■	■						
環境影響評価		■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
都市計画決定手続		■	■	■	■						
工事 (敷地造成・施設建設)		■	■	■	■	■	■	■	■	■	■

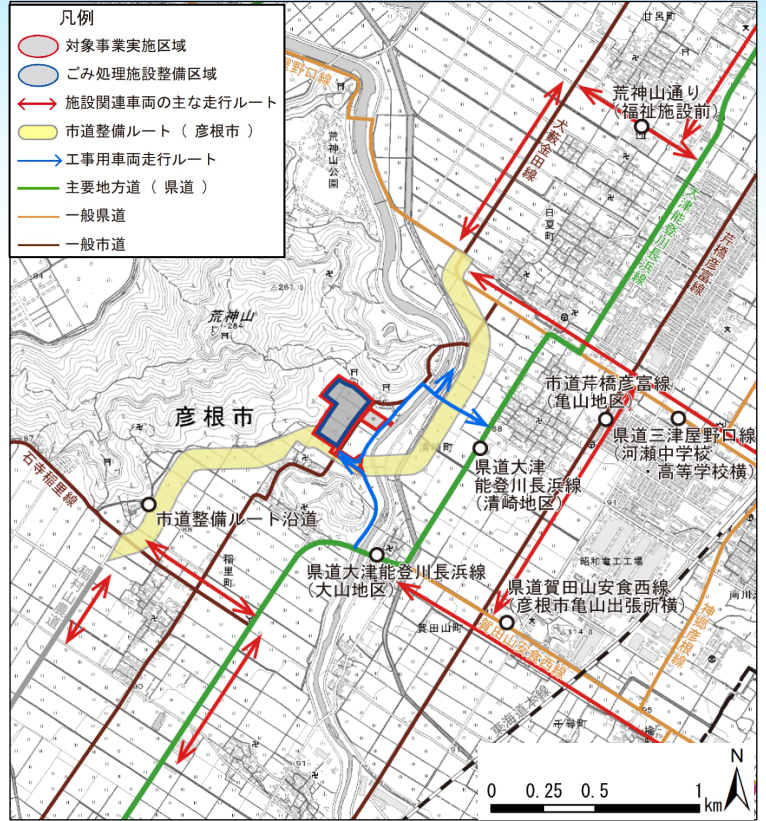
## ◆環境影響評価の対象項目

環境要素		環境影響要因		工事の実施			存在・供用		
				土地の 改変	重機 の稼働	工事用 車両 の走行	施設 の存在	施設 の稼働	施設 関連 車両 の走行
大気環境	大気質	窒素酸化物			●	●		●	●
		二酸化硫黄						●	
		浮遊粒子状物質			●	●		●	●
		粉じん等			●			●	
		その他の物質 <sup>注)</sup>						●	
	騒音			●	●		●	●	
	超低周波音						●		
	振動			●	●		●	●	
悪臭						●	●		
水環境	水質	水の濁り		●					
生物	動物			●					
	植物			●					
	生態系			●	●				
人と自然との豊かな触れ合い	景観			●			●		
	人と自然との触れ合いの活動の場			●		●	●		
環境負荷	廃棄物等			●				●	
	温室効果ガス等				●	●		●	●
歴史的遺産	文化財			●	●	●	●		
	伝承文化			●	●	●	●		

注) その他の物質：塩化水素、水銀、ダイオキシン類



## ◆現地調査・影響予測位置



区分	凡例	項目
区域内	●	大気質/土壌/地上気象/上層気象
	○	騒音/超低周波音/振動
一般環境	●	大気質/悪臭/土壌
	○	大気質/騒音/超低周波音/振動/悪臭/土壌
その他	●	水質
	●	景観
	○	動物(猛禽類除く)/植物相
	○	鳥類(猛禽類)/植生
	○	人と自然との触れ合いの活動の場/文化財/伝承文化

区分	凡例	項目
沿道環境	○	大気質/騒音/振動/交通量

- 注1) 対象事業実施区域の大気質調査では、降下ばいじん調査のみ実施しました。
- 注2) 土壌は環境影響評価の対象外ですが、現況把握を行うための調査を実施しました。また、対象事業実施区域から概ね400m圏内の範囲の代表地点において、地下水位の現況把握を行うための調査を実施しました。
- 注3) 現地調査(大気質)の補足として、対象事業実施区域周辺2kmを包括する範囲において現地拡散実験を実施しました。
- 注4) 景観の調査地点は、本あらしに予測結果(10ページ参照)を記載した代表的な地点を示しています。
- 注5) 市道整備ルート沿道地点では、供用後の施設関連車両の走行に伴う大気質・騒音・振動の予測のみ実施しました。

## ◆現地調査の主な結果

【大気質調査結果：一般環境（年間）】

測定地点	二酸化窒素			二酸化硫黄			降下ばいじん
	期間平均値 (ppm)	日平均値の最高値 (ppm)	1時間値の最高値 (ppm)	期間平均値 (ppm)	日平均値の最高値 (ppm)	1時間値の最高値 (ppm)	総量 (t/km <sup>2</sup> /月)
対象事業実施区域	—	—	—	—	—	—	1.19
清崎町公民館	0.004	0.009	0.020	0.000	0.001	0.002	1.22
大山地区公園	0.004	0.008	0.019	0.000	0.001	0.002	1.58
稲里町民会館	0.004	0.008	0.019	0.001	0.001	0.002	1.54
三津屋町民会館	0.004	0.008	0.015	0.000	0.001	0.003	—
荒神山山頂	0.003	0.007	0.014	0.000	0.001	0.002	3.62
環境基準等	—	0.04～0.06以下	—	—	0.04	0.1	20

測定地点	浮遊粒子状物質			塩化水素	ダイオキシン類	水銀
	期間平均値 (mg/m <sup>3</sup> )	日平均値の最高値 (mg/m <sup>3</sup> )	1時間値の最高値 (mg/m <sup>3</sup> )	期間平均値 (ppm)	期間平均値 (pg-TEQ/m <sup>3</sup> )	期間平均値 (μg/m <sup>3</sup> )
清崎町公民館	0.012	0.046	0.092	0.001未満	0.010	0.004未満
大山地区公園	0.012	0.043	0.087	0.001未満	0.0085	0.004未満
稲里町民会館	0.013	0.046	0.085	0.001未満	0.024	0.004未満
三津屋町民会館	0.012	0.042	0.089	0.001未満	0.0072	0.004未満
荒神山山頂	0.012	0.040	0.076	0.001未満	0.0078	0.004未満
環境基準等	—	0.10	0.20	0.02	0.6	0.04

【騒音・振動調査結果：沿道環境】

地点	時間区分	騒音レベル (L <sub>Aeq</sub> ) (単位：dB)			振動レベル (L <sub>10</sub> ) (単位：dB)		
		平日	休日	環境基準	平日	休日	要請限度
荒神山通り (福祉施設前)	昼間	64	64	65	27	25	65
	夜間	54	54	60	25	25	60
市道芹橋彦富線 (亀山地区)	昼間	68	68	65	42	42	65
	夜間	60	60	60	32	31	60
県道賀田山安食西線 (彦根市亀山出張所横)	昼間	67	67	70	36	33	65
	夜間	61	60	65	28	27	60
県道三津屋野口線 (河瀬中学校・高等学校横)	昼間	64	64	70	41	41	65
	夜間	58	57	65	31	31	60
県道大津能登川長浜線 (大山地区)	昼間	69	69	70	36	34	65
	夜間	63	62	65	28	27	60
県道大津能登川長浜線 (清崎地区)	昼間	69	69	70	38	39	65
	夜間	61	61	65	29	28	60

注1) 騒音の時間区分 昼間：6～22時、夜間：22～6時。なお、下線は環境基準超過を示します。

注2) 振動の時間区分 昼間：8～19時、夜間：19～8時。

## ◆影響の主な予測結果

### ●大気質（建設機械の稼働：排出ガス）

建設機械の稼働に伴い発生する排出ガス（二酸化窒素・浮遊粒子状物質）の予測結果は、最大着地濃度地点（西側敷地境界）においても環境保全目標値以下となりました。

【工事中の建設機械排出ガスの予測結果（最大着地地点濃度）】

時期	予測地点	項目 (単位)	予測結果 (年平均値)	日平均値の年間98%値	環境保全目標値
工事中	最大着地濃度地点 (西側敷地境界)	二酸化窒素 (ppm)	0.017	0.036	0.04～0.06またはそれ以下
	最大着地濃度地点 (西側敷地境界)	浮遊粒子状物質 (mg/m <sup>3</sup> )	0.014	0.036	0.10以下

### ●大気質（建設機械の稼働：粉じん等）

建設機械の稼働に伴い発生する粉じん等（降下ばいじん）の予測結果は、最も影響の大きな南側最寄住居においても環境保全目標値以下となりました。

【工事中の粉じん等の予測結果】

時期	項目 (単位)	予測結果					環境保全目標値	
		清崎町公民館	大山地区公園	稲里町民会館	荒神山山頂	北側最寄住居		南側最寄住居
工事中	降下ばいじん (t/km <sup>2</sup> /月)	0.72～1.82	1.09～2.41	0.72～2.50	2.43～4.24	1.34～1.90	1.61～2.67	20以下

注) 季節ごとに予測を行い、上表には予測値の最小値と最大値を記載しました。



## ●大気質（煙突排出ガス）

供用後の煙突排出ガスによる大気質の長期予測（年平均値）の結果は、最大着地濃度地点（事業実施区域北西側約600mの位置に出現）において、全項目で環境保全目標値以下となりました。

様々な気象条件時の短期予測（1時間値）でも、最大着地濃度地点において環境保全目標値以下となりました。

【煙突排出ガスの長期濃度予測結果（最大着地濃度地点）】

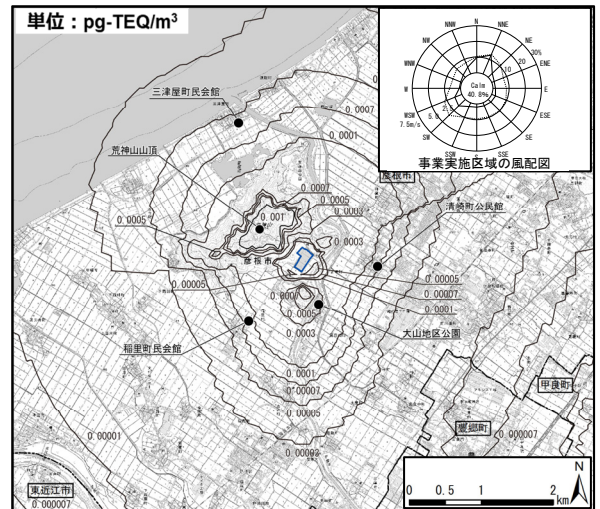
項目（単位）	現況濃度	予測結果（年平均値）	予測結果（日平均値）	環境保全目標値
二酸化窒素(ppm)	0.004	0.004	0.013	0.04~0.06のゾーン内またはそれ以下
二酸化硫黄(ppm)	0.001	0.001	0.002	0.04以下
浮遊粒子状物質(mg/m <sup>3</sup> )	0.013	0.013	0.034	0.10以下
塩化水素(ppm)	0.001	0.001		0.02以下
水銀(μg/m <sup>3</sup> )	0.004	0.004		0.04以下
ダイオキシン類(pg-TEQ/m <sup>3</sup> )	0.024	0.026		0.6以下

注) 日平均値の予測結果は、二酸化窒素は日平均値の年間98%値、二酸化硫黄・浮遊粒子状物質は日平均値の年間2%除外値を示しています。

【ダイオキシン類の長期濃度予測結果（長期濃度・地点別）】

(単位：pg-TEQ/m<sup>3</sup>)

予測地点	寄与濃度	現況濃度	予測結果	環境保全目標値
清崎町公民館	0.00008	0.010	0.010	0.6以下
大山地区公園	0.00034	0.0085	0.0088	
稲里町民会館	0.00008	0.024	0.024	
三津屋町民会館	0.00006	0.0072	0.0073	
荒神山山頂	0.00147	0.0078	0.0093	
最大着地濃度地点	0.00163	0.024	0.026	



長期濃度予測結果(寄与分)(ダイオキシン類の例)

【煙突排出ガスの短期濃度予測結果（最大着地濃度地点）】

項目（単位）	予測結果（現況濃度+寄与濃度）						環境保全目標値
	一般的な気象条件時	上層逆転層発生時	煙突のウツオツシ発生時	建物からのウツオツシ発生時	ファミゲーション発生時	地形からのウツオツシ発生時	
二酸化窒素(ppm)	0.021	0.022	0.020	0.020	0.021	0.020	0.1以下
二酸化硫黄(ppm)	0.005	0.007	0.003	0.004	0.007	0.004	0.1以下
浮遊粒子状物質(mg/m <sup>3</sup> )	0.093	0.093	0.092	0.092	0.093	0.092	0.20以下
塩化水素(ppm)	0.003	0.005	0.001	0.002	0.005	0.002	0.02以下
水銀(μg/m <sup>3</sup> )	0.006	0.008	0.004	0.005	0.008	0.005	0.04以下
ダイオキシン類(pg-TEQ/m <sup>3</sup> )	0.060	0.066	0.055	0.058	0.067	0.056	0.6以下

## ●大気質（工事用車両・施設関連車両：排出ガス）

工事中の工事用車両および供用後の施設関連車両（ごみ収集車両および一般持込車両）の走行による沿道の大気質の予測結果は、いずれの予測地点においても、環境保全目標値以下となりました。

【工事用車両および施設関連車両の走行に伴う大気質の予測結果】

時期	予測地点	二酸化窒素（単位：ppm）		環境保全目標値	浮遊粒子状物質（単位：mg/m <sup>3</sup> ）		環境保全目標値
		予測結果			予測結果		
		年平均値	日平均値の年間98%値		年平均値	日平均値の年間2%除外値	
工事中	荒神山通り（福祉施設前）	0.004	0.014	0.04~0.06のゾーン内またはそれ以下	0.012	0.033	0.10以下
	市道芹橋彦富線（亀山地区）	0.006	0.014		0.012	0.033	
	県道賀田山安食西線（彦根市亀山出張所横）	0.006	0.014		0.012	0.033	
	県道三津屋野口線（河瀬中学校・高等学校横）	0.005	0.014		0.012	0.033	
	県道大津能登川長浜線（大山地区）	0.006	0.014		0.012	0.033	
供用後	県道大津能登川長浜線（清崎地区）	0.005	0.014		0.012	0.033	
	荒神山通り（福祉施設前）	0.005	0.014		0.012	0.033	
	市道芹橋彦富線（亀山地区）	0.006	0.014		0.012	0.033	
	県道賀田山安食西線（彦根市亀山出張所横）	0.006	0.014		0.012	0.033	
	県道三津屋野口線（河瀬中学校・高等学校横）	0.005	0.014		0.012	0.033	
	市道整備ルート沿道	0.004	0.014	0.013	0.033		



## ●騒音・超低周波音・振動（建設機械の稼働・施設の稼働）

工事中の建設機械の稼働および供用後の施設の稼働に伴う騒音・超低周波音・振動の予測結果は、施設の敷地境界および最寄住居ともに環境保全目標値以下となりました。

【建設機械および施設の稼働に伴う騒音予測結果】（敷地境界の最大地点）（単位：dB）

時期	区分		予測結果 (L <sub>A5</sub> )	環境保全目標値
工事中	平日	昼間	67	85
		朝・夕	45	50
供用後	平日	昼間	47	55
		夜間	45	45

【建設機械および施設の稼働に伴う騒音予測結果】（最寄住居の最大値）（単位：dB）

時期	区分	現況騒音レベル (L <sub>Aeq</sub> ) ①	寄与騒音レベル (L <sub>Aeff</sub> ) ②	予測結果 (L <sub>Aeq</sub> ) ①+②	環境保全目標値	
工事中	平日・休日	昼間	40	55	55	55
		夜間	40	31	41	55
供用後	平日・休日	昼間	40	29	34	45
		夜間	32	29	34	45

【施設の稼働に伴う超低周波音予測結果】（敷地境界の最大地点・最寄住居の最大値）（単位：dB）

期間	予測地点	予測結果 (L <sub>G</sub> )	環境保全目標値
供用後	敷地境界	87	92
	最寄住居	73	

【建設機械および施設の稼働に伴う振動予測結果】（敷地境界の最大地点）（単位：dB）

時期	区分	予測結果 (L <sub>10</sub> )	環境保全目標値
工事中	昼間	57	75
	夜間	55	55
供用後	昼間	57	60
	夜間	55	55

【建設機械および施設の稼働に伴う振動予測結果】（最寄住居の最大値）（単位：dB）

時期	区分	現況振動レベル (L <sub>10</sub> ) ①	寄与レベル (L <sub>10</sub> ) ②	予測結果 (L <sub>10</sub> ) ①+②	環境保全目標値	
工事中	平日・休日	昼間	25未満	48	48	55
		夜間	25未満	42	42	55
供用後	平日・休日	昼間	25未満	40	40	55
		夜間	25未満	40	40	55

## ●騒音・振動（工事用車両・施設関連車両）

騒音の予測結果は、市道芹橋彦富線（亀山地区）の1地点において、現況調査結果が環境基準値を上回っているため、予測結果も市道芹橋彦富線（亀山地区）の1地点で環境基準値を上回りましたが、現況からの増加は1dB未満となりました。また、いずれの地点でも環境保全目標値以下となりました。

【工事用車両・施設関連車両の走行に伴う騒音予測結果】（単位：dB）

時期	予測地点	区分	現況騒音レベル	予測結果 (現況+寄与)	環境保全目標値
工事中	荒神山通り（福祉施設前）	平日・休日	64	65	65
	市道芹橋彦富線（亀山地区）		68	68	68 <sup>注2)</sup>
	県道賀田山安食西線（彦根市亀山出張所横）		67	68	70
	県道三津屋野口線（河瀬中学校・高等学校横）		64	65	
	県道大津能登川長浜線（大山地区）		69	70	
	県道大津能登川長浜線（清崎地区）		69	70	
供用後	荒神山通り（福祉施設前）	平日	64	65	65
	市道芹橋彦富線（亀山地区）		68	68	68 <sup>注2)</sup>
	県道賀田山安食西線（彦根市亀山出張所横）		67	67	70
	県道三津屋野口線（河瀬中学校・高等学校横）		64	64	
	県道大津能登川長浜線（大山地区）		69	69	
	県道大津能登川長浜線（清崎地区）		69	69	
市道整備ルート沿道	-	65	65		

注1) 昼間の時間帯の評価値を示します。下線は環境基準（65dB）を超過することを示します。

注2) 現況騒音レベルが昼間の基準を超えている地点については、現況を悪化させないことを環境保全目標とし、現況騒音レベルを環境保全目標値としました。

【工事用車両・施設関連車両の走行に伴う振動予測結果】（単位：dB）

時期	予測地点	区分	現況振動レベル	予測結果 (現況+寄与)	環境保全目標値
工事中	荒神山通り（福祉施設前）	平日・休日	27	33	65
	市道芹橋彦富線（亀山地区）		42	45	
	県道賀田山安食西線（彦根市亀山出張所横）		36	39	
	県道三津屋野口線（河瀬中学校・高等学校横）		41	44	
	県道大津能登川長浜線（大山地区）		36	39	
	県道大津能登川長浜線（清崎地区）		38	42	
供用後	荒神山通り（福祉施設前）	平日	27	31	65
	市道芹橋彦富線（亀山地区）		42	43	
	県道賀田山安食西線（彦根市亀山出張所横）		36	36	
	県道三津屋野口線（河瀬中学校・高等学校横）		41	42	
	県道大津能登川長浜線（大山地区）		36	36	
	県道大津能登川長浜線（清崎地区）		38	38	
市道整備ルート沿道	-	43			

注) 昼間の時間帯の評価値を示します。

## ●悪臭（煙突排出ガス）

煙突排出ガスに伴う悪臭については、最大濃度地点において臭気指数は10未満であり、この値は本施設の環境保全目標値である臭気強度2.5以下に該当すると予測されました。また、施設休炉時の排出口からの悪臭も同様と予測されました。

【煙突排出ガスに伴う悪臭予測結果】（最大濃度地点）

気象条件	予測結果		環境保全目標値
	臭気指数	臭気強度	
一般的な気象条件時	10未満	2.5以下	2.5以下
上層逆転層発生時	10未満	2.5以下	
煙突ダウンウォッシュ発生時	10未満	2.5以下	
建物ダウンウォッシュ発生時	10未満	2.5以下	
フュミゲーション発生時	10未満	2.5以下	
地形ダウンドラフト発生時	10未満	2.5以下	

## ●悪臭（施設の稼働（焼却施設等からの漏洩）・施設関連車両の走行）

供用後の施設の稼働（焼却施設等からの漏洩）および施設関連車両の走行に伴う悪臭の予測結果は、既存事例の調査結果から臭気の漏洩は少ないことや、同程度以上の環境保全措置を講じることにより、影響は小さいものと予測しました。

## ●水質（土地の改変）

土地の改変に伴う水質（水の濁り）への影響の予測の結果、降雨時の浮遊物質量は、現況調査結果の変動範囲内、かつ平均値と同程度の濃度となりました。

【降雨時水質予測結果】（宇曾川下流側）

項目	予測結果 (mg/L)	現況調査結果	
		平均値 (mg/L)	変動幅 (mg/L)
浮遊物質	87.4	87.0	17~180

## ●動物・植物・生態系

現地調査の結果、重要な種（レッドデータブック記載種など）として、下表に示す種が確認されました。

休耕田の湿地やハンノキ林の改変割合が高く、重要な種のうち、ホンシュウカヤネズミ等の11種の動物やコガマ等の3種の植物は、生息・生育環境の消失/縮小の「影響は大きい（A）」、周辺に生息環境が広く残存するヤマトサンショウウオ等の17種の動物は「影響を受ける（B）」と予測しました。

水の濁りについては、水路や湿地を主な生息・生育環境とする種は「影響を受ける（B）」、宇曾川を主な生息環境とする種は「影響は小さい（C）」と予測しました。

重機の稼働に伴う騒音については、周辺で繁殖が確認されたオオタカは「影響を受ける（B）」と予測しました。

【現地調査で確認された重要な種】

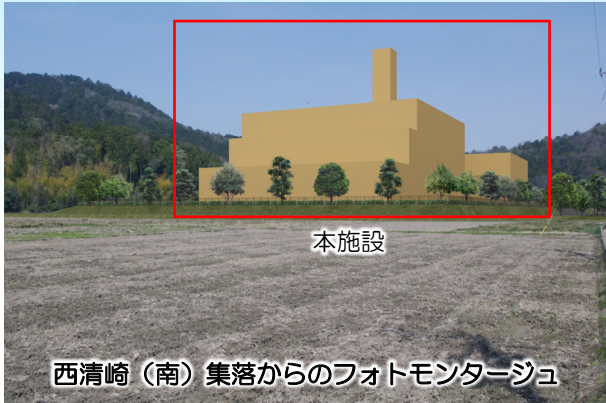
分類群	代表的な種
哺乳類	ホンドザル、ホンシュウカヤネズミ、ハツカネズミ等 計6種
鳥類(猛禽類を含む)	カイツブリ、ゴイサギ、ケリ、オオタカ、オオヨシキリ等 計40種
爬虫類	ニホンイシガメ、ヒガシニホントカゲ、ヒバカリ等 計5種
両生類	ヤマトサンショウウオ、ニホンアカガエル、トノサマガエル等 計5種
昆虫類	エゾトンボ、コオイムシ、シマゲンゴロウ等 計17種
陸産貝類	ナガオカモノアラガイ、ニッポンマイマイ、ヒルゲンドルフマイマイ等 計5種
魚類	アブラボテ、ヌマムツ、アブラハヤ、ドジョウ等 計13種
底生動物(昆虫類を除く)	タテボシガイ、マツカサガイ、ドブシジミ 計3種
植物	コガマ、ヒメコヌカグサ、ノニガナ等 計8種





## ● 景 観

近景の西清崎（南）集落などの地点は眺望景観に与える「影響は大きい（A）」、中景のグリーンピア交差点などの地点は「影響を受ける（B）」と予測しました。



## ● 温室効果ガス等

工事中の予測結果は、9,943.3 tCO<sub>2</sub>/年の温室効果ガスの排出となりました。

施設の供用後の予測結果は、20,953 tCO<sub>2</sub>/年の温室効果ガスの排出となり、一方で発電により6,178tCO<sub>2</sub>/年の温室効果ガスの削減効果があると考えられます。

既存施設の排出量に比べると、約5,800 tCO<sub>2</sub>/年の温室効果ガスの削減が見込まれます。

## ● 文化財・伝承文化

対象事業実施区域およびその周辺1kmの調査範囲には、1件の国指定記念物（荒神山古墳）、1件の県指定有形文化財（木造僧形坐像）、6件の市指定文化財、および2件の国登録有形文化財、8件の埋蔵文化財包蔵地が存在し、36件の未指定の文化財（社寺、地蔵、石碑等）が確認されました。また、天満天神社の太鼓祭や荒神山神社の水無月祭などの伝承文化、へび岩信仰や地蔵信仰などの伝承文化の場が確認されました。

土地の改変および施設の存在により周辺環境の状態変化等で影響を受けることが予測されます。

## ◆ 環境保全措置

事業の実施による影響を回避または低減するため、下表に示す環境保全措置を実施します。

### 【環境保全措置の検討結果】

環境要素	区分	主な環境保全措置の内容	
大気質 騒音 超低周波音 振動	工事中	建設機械の稼働	排出ガス対策型建設機械の採用、建設機械の整備・点検、教育指導の実施、仮囲いの設置、散水の実施、敷鉄板の設置、低騒音/低振動型建設機械の採用
		工事用車両の走行	運搬車両台数の低減、車両の維持管理、運転手の教育・指導
	供用後	施設の稼働	排出ガス処理設備、運転管理の徹底、排出ガス濃度等の情報公開、施設を建屋で囲う、除じん設備の設置、散水の実施、低騒音・低振動型設備機器の採用と配置、設備機器の維持管理、振動発生機器の配慮
		廃棄物の搬入等	施設関連車両台数の低減、車両の維持管理、運転手の教育・指導
悪臭	供用後	排出ガス処理、運転管理の徹底、脱臭設備の設置、臭気の高温分解、悪臭漏洩の防止、運転手の教育・指導、車両の維持管理、汚水タンク付き車両の使用	
水質	工事中	調整池の設置、調整池の浚渫、速やかな転圧等	
動物・植物 ・生態系	工事中・供用後	地形改変の最小化、段階的な草刈りによる周辺生息適地への誘導(ソウカヤクミ)、ピオトープの設置および動植物の移植、ハンノキ林保全エリアの設定、素掘り水路の保全、調整池の設置、速やかな転圧等、繁殖期前からの着工(オカ)、低騒音型建設機械の採用、仮囲いの設置、重機の整備・点検、繁殖期の追加防音対策(オカ)	
景観	工事中・供用後	地形改変の最小化、周辺景観環境との調和、「彦根市景観計画」に従った景観対応、緑化法面の採用、施設および盛土法面のセットバック、保全エリアの設定、白煙防止装置の設置	
人と自然との 触れ合いの活 動の場	工事中	保全エリアの設置、運搬車両台数の低減、運転手の教育・指導、工事中の交通整理および迂回誘導	
	供用後	周辺景観環境との調和、「彦根市景観計画」に従った景観対応、緑化法面の採用、施設および盛土法面のセットバック、「山の駅」および駐車場の設置・開放	
廃棄物等	工事中	適正な処理および再利用、適正な処分、再資源化の促進	
	供用後	適正な処理および処分、ごみ分別・減量化の推進	
温室効果 ガス等	工事中	運転手の教育・指導、車両の整備・点検、運搬車両台数の低減、建設副産物の再利用、緑化の促進	
	供用後	エネルギー回収、運転手の教育・指導、ごみ分別・減量化の推進	
文化財	工事中・供用後	遺跡の不時発見時における文化財保護法対応、保全エリアの設定、運搬車両台数の低減、運転手の教育・指導、工事中の交通整理および迂回誘導、周辺景観環境との調和、「彦根市景観計画」に従った景観対応、緑化法面の採用、施設および盛土法面のセットバック	
伝承文化	工事中	水無月祭開催日の休工、太鼓祭開催日の工事用道路の開放、運搬車両台数の低減、運転手の教育・指導、工事中の交通整理および迂回誘導	
	供用後	周辺景観環境との調和、「彦根市景観計画」に従った景観対応、緑化法面の採用、施設および盛土法面のセットバック、「山の駅」および駐車場の設置・開放	



## ◆評価結果

### ●環境影響の回避・低減に係る評価

工事中および供用後において適切な環境保全措置を実施することで、環境への影響は、回避・低減を図ることができるかと評価しました。

### ●国、県、市等が実施する環境保全施策に係る基準または目標との整合性

環境保全目標値を設定している項目については、環境保全目標値以下または事業により現況を著しく悪化させるものではないことから、環境の保全に係る基準または目標との整合性は図られると評価しました。

## ◆事後調査の計画

### 【事後調査】

環境要素	時期	調査項目	調査方法
動物・生態系	工事中	オオタカの繁殖状況モニタリング調査	定点観察を基本とした方法 (営巣場所調査、繁殖状況調査)
動物・植物・生態系	工事中・供用後	ビオトープのモニタリング調査	保全地域における重要な種の 生息・生育状況の観察

### 【その他の環境監視調査】

環境要素	測定項目	測定頻度	測定位置
大気質	ばいじん、硫黄酸化物、窒素酸化物、塩化水素、水銀	2回/年	煙突排出ガス
	ダイオキシン類	1回/年	
騒音	騒音レベル	1回(施設竣工後)	敷地境界4箇所

## ◆縦覧・意見書の提出について

### 縦覧場所・期間

#### 【縦覧場所】

- 滋賀県 総合企画部 県民活動生活課県民情報室
- 滋賀県 湖東環境事務所
- 彦根愛知犬上広域行政組合
- 彦根市役所生活環境課
- 彦根市役所(稲枝支所・鳥居本出張所・河瀬出張所・亀山出張所・高宮出張所)
- グリーンピアひこね
- 愛荘町役場くらし安全環境課
- 豊郷町役場住民生活課
- 甲良町役場住民人権課
- 多賀町役場産業環境課

※彦根愛知犬上広域行政組合ホームページ上でも電子縦覧を行います。

<https://www.genaikouiki.jp>

#### 【縦覧期間】

- 令和4年8月29日(月)～令和4年9月28日(水) 各縦覧場所の執務時間内

### 意見書の提出方法・期間

- 1.準備書について環境保全の見地から意見のある方は意見書を提出することができます。
- 2.所定の様式に環境保全の見地からの意見を記載してください。
- 3.意見書の提出方法
  - ・縦覧場所に備え付けの意見箱への投函(縦覧期間中のみ)
  - ・郵送または持参(彦根愛知犬上広域行政組合まで)
  - ・電子メール([genaikouiki@jupiter.ocn.ne.jp](mailto:genaikouiki@jupiter.ocn.ne.jp))※必要事項(氏名および住所、環境保全の見地からの意見)をご記載ください。
- 4.意見書の受付期間: 令和4年10月12日(水)必着

## お問い合わせ先

彦根愛知犬上広域行政組合 建設推進室

〒529-1161 犬上郡豊郷町大字四十九院1252番地「豊栄のさと」内

TEL 0749-35-0015 FAX 0749-35-4711

Email [genaikouiki@jupiter.ocn.ne.jp](mailto:genaikouiki@jupiter.ocn.ne.jp)